

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191100049		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター千歳北陽【1F あったか】		
所在地	北海道千歳市北陽1丁目11-8		
自己評価作成日	平成30年6月26日	評価結果市町村受理日	平成30年8月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0191100049-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成30年7月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

安心・安全なサービスの提供が出来るようスキルアップの向上に努め、事業所内での勉強会、外部からの研修会講師を招きホームの理念[一緒に過ごすケア]を基に利用者様の個性を理解し、寄り添い共に過ごしご家族様の協力を得ながら支援しています。少しでも温かいぬくもりを感じ穏やかに過ごせるよう笑顔を決めず[選ばれるホーム]を目指します

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

千歳市民病院や高校、小学校、保育園や大型スーパーが立ち並ぶ住宅街の一角に開設された木造2階建て2ユニット(定員18名)の認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)です。近隣の保育園児や小学生の慰問を定期的に受け入れて子ども達との交流の場を設けたり、地元高校のボランティア部の生徒への協力など事業所の持つ専門性を活かして地域貢献や地域との交流・連携に取り組んでいる。また、フラダンスやクラシックギター演奏会、民謡やスコップ三味線等の地域ボランティアの協力を得て楽しみごとへの支援や地元の人々との交流に取り組んでいる。職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、年間計画に基づいて、認知症ケアや高齢者虐待防止法、身体拘束廃止等の法人内外の研修を受ける機会を確保しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目	取組の成果		項目	取組の成果	
	↓該当するものに○印			↓該当するものに○印	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらい 3 家族の1/3くらい 4 ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらい 3 職員の1/3くらい 4 ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30、31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらい 3 家族等の1/3くらい 4 ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、その理念を実践に繋げていけるよう努めています。	事業所独自の理念を作り、見易い場所に掲示して朝礼や内部研修会開催等でその理念を職員間で共有し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティア、近隣の保育園、小学校、高校の訪問を積極的に受け入れ交流に努めています	近隣の保育園児や小学生の慰問を定期的に受け入れて子ども達との交流の場を設けたり、地元高校のボランティア部の生徒への協力など地域との交流・連携に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学、運営推進会議等で認知症の理解と支援の方法を地域の方に活かしています		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にてサービスの提供や取り組み、事故トラブル報告、その対策、予防を報告しメンバーの皆様よりご意見を頂きサービスの向上に活かしています	運営推進会議を年6回を目安に開催して、事業所の取り組み状況や日常生活の様子等の具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者及び包括支援センターとの連携の重要性を認識し日常業務を通じて連携を深めるよう取り組んでいます	市担当者及び包括支援センターとは、日常業務を通じて相談、助言等を得ながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止・虐待防止についての研修会を月1度開催することを会社より義務づけられ、拠点会議で開催し議事録等に書面で残している。実践として身体拘束をしない介護ケアに取り込んでいる	外部の専門家を招くなどで身体拘束廃止や高齢者虐待防止等の内部研修会を開催して、指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会を設け、定期的に設け月1度高齢者虐待防止の研修会を義務付けられ開催、内容を議事録に残し正しく理解し防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は介護リーダー、職員が成年後見制度について、事業所内での勉強会、講演会などで学ぶ機会を持てるよう努めて行く。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は契約者様に十分な説明、誤解の無い様細かな説明と質問等にお答えして、理解と納得の上契約して頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議でのご意見、助言を聞く場を設け、運営に反映させています。苦情箱も玄関先に設置しています。	家族や来訪者等が苦情等を言い表せるよう苦情等の受付箱を設置し、苦情等の申し出先を明示している。また、そこでの意見等を運営に反映するようミーティング等で話し合っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例会議、ユニット会議で日々の業務を通じ意見要望を提案を聞き運営に反映させています	定例会議やユニット会議等を通じて、職員の意見や要望、提案を聞くよう機会を設け、そこでの提案やアイデアを運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し労働時間、職場環境の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地域の研修会、ニチイでの勉強会に参加また自拠点での研修発表のばを毎月設けスキルアップの向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	千歳市の研修会、その他の活動を通じサービスの質の向上に努めています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の抱えている、不安心配事に耳を傾け、利用者のご要望を叶えられるよう信頼関係築くよう努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の抱えている、不安心配事に耳を傾け、問題解決を共に考え信頼関係築くよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人とご家族様が必要としている支援を見極め、他のサービスを含めた、対応に努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームの理念[一緒に過ごすケア]を基に職員の役割と責任を持ち、個々の利用者様の個性を理解し、暮らしを共にする者同士の関係構築に取り組んでいます		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員はご家族様に近況報告や相談を話し合い、ご家族様と本人との絆を大切に支えていく様努め取り組んでいます		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	センター方式を活用しこれまでに大切にされてきた馴染みの人や物、場所が途切れないよう支援しています	保育園児や小学生、高校生との交流や買い物や散歩、町内会行事への参加等で馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性関係を把握し日常的に利用者同士のトラブルを未然に防ぎ孤立しないよう、関われる雰囲気作りを提供千歳北陽の輪が保たれるよう支援取り組んでいます		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもご家族、ご本人様のお困り事の相談にのれるよう努めています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを通し、一人ひとりの思いやり希望、意向に努めている	センター方式を活用して、一人ひとりの思いや生活歴の把握に努め、職員間で情報を共有して、本人本位に検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活環、生活歴、サービスの利用の経過、情報の収集に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常的に申し送りまたはカンファレンスでの情報共有で、一人ひとりの1日の過ごし方心身状態、有する能力の現状把握に努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人がより良く暮す為の課題とケアのあり方について本人・ご家族の意見を反映するようにしています。又カンファレンス、モニタリングを通して介護計画書に職員の意見を反映させています	本人・家族の意向や要望、医師・看護師からの指導や助言、モニタリング等を通じ職員の意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。また、状態変化時には、都度見直しを実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別に記入し職員間で情報を共有しながら、介護計画書の身直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、家族の状況に合わせて柔軟な支援やサービスに取り込んでいます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源と共同しながら安全で豊かな暮らしが出来るよう支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の希望を聞き、かかりつけ医との連携をとり受診支援しています	受診は、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、往診や訪問看護の利用、通院や日常の健康管理等で適切な医療を受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医の看護師や訪問看護師に利用者の状況を伝え、指示を頂きながら適切な受診の支援をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報交換や相談をしながら関係者との構築に努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	本人、ご家族に相談し提携医、訪問看護師との情報共有と指示を仰ぎながらチームでしんが出来るよう事前の準備、知識を学び取り組んでいる、準備段階です	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら指針を職員間で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内の研修会、マニュアルを作成緊急時の対応方法など定期的に実施しその場に応じた取るべき行動、実践力を身につけられるよう各リーダ、管理者が指導に当たっています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラーの設備、火災時動装置設置。尚年2回の消防訓練、消防設備の点検を計画的に実施しています	年2回の夜間を想定した火災避難訓練を実施し、緊急時に備えた食料の備蓄もしている。また、スプリンクラーや火災自動報知器、通報装置等の設備を完備し、定期点検も実施している。	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	拠点での研修会[スピーチロック]適切な声かけができているかの振り返りを行いプライバシーに配慮しています	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないよう、接遇マナー等の内部研修会開催で職員間に周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の会話の中でご本人の思い、希望を聞く声かけ、話題作りに取り組んでいます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	本人の体調、精神状態を配慮し、本人の生活しやすい空間、スペースを確保し支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じた、その方の好みを入れ身だしなみに配慮し支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しみになるよう、一人ひとりの好みを把握し、献立や行事食を考え提供しています。食事準備、後片付け等ではにスタッフが付き出来る事を促して頂いています	一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や後片付け等を職員と一緒に出来るよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量を記録し、1日の必要な摂取量の支援を行い一人ひとりの状態を把握管理、提携医に報、連、相、指示を仰ぎ適切な支援を行っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	30年8月より提携歯科医と契約を交わし口腔衛生管理を利用、歯科衛生士による口腔衛生指導を受け生活の質の向上を図ることが出来るよう進めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握しトイレでの排泄出来るよう支援しています	一人ひとりの力や排泄パターンを把握し、声かけや誘導等の工夫でトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防策の、食事、飲食提供の工夫。個別の訓練を訪問看護師、DRIにアドバイスを頂き実践しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	一人ひとりの希望やタイミング・生活習慣に応じ、週2回～3回の入浴を目安に支援しています	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて週2～3回の入浴を目安に柔軟な入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の時々状況に応じて休息を促したり、安心して気持ちよく眠れるよう言葉かけや対応に努めています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	提携薬局と個々の利用者が契約して頂き、定期薬、臨時薬、処方箋の全てを管理、副作用の説明、服薬方法を職員に落としこみ安全な薬の取り扱いで専門的分野に依頼しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合わせた役割又は、個人訓練を取り入れ、張り合いや気分転換の支援をしています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員も増え念願の外出も計画中	一人ひとりのその日の希望に沿って、買い物や散歩等で戸外に出かけられるよう支援している。また、戸外での活動で馴染みの店や場所との関係が途切れないように支援していく計画を検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所内での個人金銭所持は無い為、本人希望する物は職員がご家族からお預かりしているお小遣い金から購入しています。事務所金庫内で保管しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があれば自ら電話したり、手紙のやり取りは出来るよう支援しています。最近では携帯電話を使用する入居者様が増えてきている為拠点での使用を認めています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間に季節の装飾、行事の写真提示して環境整備にも努め、過ごしやすい生活ができるよう支援指定します	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、共用空間には、季節毎の飾りつけや慰問に来た子ども達のお手紙の掲示などで生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせる工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有の空間の中で独りの時間も作れるよう配慮し、思い思いに過ごせるよう工夫しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族の写真や使いなれたもの、馴染みのある物など本人が居心地良く過ごせるよう工夫しています	居室には、使い慣れた家具や日用品等が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内には利用者が手すりを使い、少しでも自立に向けた生活をして頂く為、安全な環境作りに努めています		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0191100049		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター千歳北陽【2F ほがらか】		
所在地	北海道千歳市北陽1丁目11-8		
自己評価作成日	平成30年6月26日	評価結果市町村受理日	平成30年8月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0191100049-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成30年7月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

安心・安全なサービスの提供が出来るようスキルアップの向上に努め、事業所内での勉強会、外部からの研修会講師を招きホームの理念[一緒に過ごすケア]を基に利用者様の個性を理解し、寄り添い共に過ごしご家族様の協力を得ながら支援しています。少しでも温かいぬくもりを感じ穏やかに過ごせるよう笑顔を決やさず[選ばれるホーム]を目指します

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、その理念を実践に繋げていけるよう努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のボランティア、近隣の保育園、小学校、高校の訪問を積極的に受け入れ交流に努めています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学、運営推進会議等で認知症の理解と支援の方法を地域の方に活かしています		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にてサービスの提供や取り組み、事故トラブル報告、その対策、予防を報告しメンバーの皆様よりご意見を頂きサービスの向上に活かしています		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の担当者及び包括支援センターとの連携の重要性を認識し日常業務を通じて連携を深めるよう取り組んでいます		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止・虐待防止についての研修会を月1度開催することを会社より義務づけられ、拠点会議で開催し議事録等に書面で残している。実践として身体拘束をしない介護ケアに取り込んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員会を設け、定期的に設け月1度高齢者虐待防止の研修会を義務付けられ開催、内容を議事録に残し正しく理解し防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は介護リーダー、職員が成年後見制度について、事業所内での勉強会、講演会などで学ぶ機会を持てるよう努めて行く。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は契約者様に十分な説明、誤解の無い様細かな説明と質問等にお答えして、理解と納得の上契約して頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議でのご意見、助言を聞く場を設け、運営に反映させています。苦情箱も玄関先に設置しています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例会議、ユニット会議で日々の業務を通じ意見要望を提案を聞き運営に反映させています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し労働時間、職場環境の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地域の研修会、ニチイでの勉強会に参加また自拠点での研修発表のばを毎月設けスキルアップの向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	千歳市の研修会、その他の活動を通じサービスの質の向上に努めています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の抱えている、不安心配事に耳を傾け、利用者のご要望を叶えられるよう信頼関係築くよう努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の抱えている、不安心配事に耳を傾け、問題解決を共に考え信頼関係築くよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人とご家族様が必要としている支援を見極め、他のサービスを含めた、対応に努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームの理念[一緒に過ごすケア]を基に職員の役割と責任を持ち、個々の利用者様の個性を理解し、暮らしを共にする者同士の関係構築に取り組んでいます		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員はご家族様に近況報告や相談を話し合い、ご家族様と本人との絆を大切に支えていく様努め取り組んでいます		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	センター方式を活用しこれまでに大切にされてきた馴染みの人や物、場所が途切れないよう支援しています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性関係を把握し日常的に利用者同士のトラブルを未然に防ぎ孤立しないよう、関われる雰囲気作りを提供千歳北陽の輪が保たれるよう支援取り組んでいます		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもご家族、ご本人様のお困り事の相談にのれるよう努めています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを通し、一人ひとりの思いやり希望、意向に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活環、生活歴、サービスの利用の経過、情報の収集に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常的に申し送りまたはカンファレンスでの情報共有で、一人ひとりの1日の過ごし方心身状態、有する能力の現状把握に努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について本人・ご家族の意見を反映するようにしています。又カンファレンス、モニタリングを通して介護計画書に職員の意見を反映させています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別に記入し職員間で情報を共有しながら、介護計画書の身直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、家族の状況に合わせて柔軟な支援やサービスに取り込んでいます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源と共同しながら安全で豊かな暮らしが出来るよう支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の希望を聞き、かかりつけ医との連携をとり受診支援しています		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医の看護師や訪問看護師に利用者の状況を伝え、指示を頂きながら適切な受診の支援をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者との情報交換や相談をしながら関係者との構築に努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	本人、ご家族に相談し提携医、訪問看護師との情報共有と指示を仰ぎながらチームでしえんが出来るよう事前の準備、知識を学び取り組んでいる、準備段階です		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所内の研修会、マニュアルを作成緊急時の対応方法など定期的実施しその場に応じた取るべき行動、実践力を身につけられるよう各リダー、管理者が指導に当たっています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	スプリンクラーの設備、火災時動装置設置。尚年2回の消防訓練、消防設備の点検を計画的に実施しています		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	拠点での研修会[スピーチロック]適切な声かけができていないかの振り返りを行いプライバシーに配慮しています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の会話の中でご本人の思い、希望を聞く声かけ、話題作りに取り組んでいます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	本人の体調、精神状態を配慮し、本人の生活しやすい空間、スペースを確保し支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に応じた、その方の好みを入れ身だしなみに配慮し支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しみになるよう、一人ひとりの好みを把握し、献立や行事食を考え提供しています。食事準備、後片付け等ではにスタッフが付き出来る事を促して頂いています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分量を記録し、1日の必要な摂取量の支援を行い一人ひとりの状態を把握管理、提携医に報、連、相、指示を仰ぎ適切な支援を行っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	30年8月より提携歯科医と契約を交わし口腔衛生管理を利用、歯科衛生士による口腔衛生指導を受け生活の質の向上を図ることが出来るよう進めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握しトイレでの排泄出来るよう支援しています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防策の、食事、飲食提供の工夫。個別の訓練を訪問看護師、DRIにアドバイスを頂き実践しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	一人ひとりの希望やタイミング・生活習慣に応じ、週2回～3回の入浴を目安に支援しています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の時々状況に応じて休息をして頂いたり、安心した気持ちで眠れるよう言葉かけや対応に努めています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	提携薬局と個々の利用者が契約して頂き、定期薬、臨時薬、処方の方全てを管理、副作用の説明、服薬方法を職員に落としこみ安全な薬の取り扱いで専門的分野に依頼しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合わせた役割又は、個人訓練を取り入れ、張り合いや気分転換の支援をしています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員も増え念願の外出も計画中		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事業所内での個人金銭所持は無い為、本人希望する物は職員がご家族からお預かりしているお小遣い金から購入しています。事務所金庫内で保管しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があれば自ら電話したり、手紙のやり取りは出来るよう支援しています。最近では携帯電話を使用する入居者様が増えてきている為拠点での使用を認めています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間に季節の装飾、行事の写真提示して環境整備にも努め、過ごしやすい生活ができるよう支援指定します		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有の空間の中で独の時間も作れるよう配慮し、思い思いに過ごせるよう工夫しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族の写真や使いなれたもの、馴染みのある物など本人が居心地良く過ごせるよう工夫しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内には利用者が手すりを使い、少しでも自立に向けた生活をして頂く為、安全な環境作りに努めています		

目標達成計画

事業所名 ニチイケアセンター千歳北陽

作成日: 平成 30年 7月 27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	48	職員の定着に課題があり、アクティビリティや屋内外の活動、外出の機会など難しい場面がある。	地域のボランティアの協力を得ているが、今後は家族と話し合いながら協力を得ていくよう取り組む。	・年間行事の計画を立案 ・家族と話し合う機会を設け、協力を得られるようにする ・職員配置の安定化を図る	12ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。